

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 27 年 8 月 17 日

設置・運営主体	社会福祉法人 誠心会		
設置主体			
経営主体	あおぞらウィンクルム保育園		
事業所名 (施設名)	あおぞらウィンクルム保育園	種別	保育所
所在地	〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-185-2 のびのびプラザ大宮2F		
電話	048-782-8716		
FAX	048-782-8717		
Email	vinculum-a@seagreen.ocn.ne.jp		
URL	http://www.seisinkai.ed.jp/aozora.win.html		
施設長氏名	大野智子		
調査対応担当者	大野智子 (所属、職名：園長)		
利用定員	90名	開設年	平成 25 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p><保育理念></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権、主体性を尊重し、一人ひとりの心の成長を大切に保育を行う。 ・人に対する愛情と自然を愛する心を育み、お互いを信頼して生きる力を育てる保育を行う。 ・健康・安全など生活に必要な基礎的な習慣を養い、生命保持及び情緒の安定を図る。 ・保育生活で、様々な体験を通し豊かな感性を育て、創造力・思考力の芽生えを培う。 ・子どもの最善の幸福のため、保護者や地域と連携して保育を行う。 <p><基本方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重し、守秘義務を徹底する。 ・子どもや保護者に対し、慈愛あふれた保育を行う。 ・真摯な態度で保育を行う。 			
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日～金曜日…7:00～20:00(トワイライト22:00まで) 土曜日 …7:00～18:00 休日保育 …8:30～17:30		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1	6	2
1歳児	15	18	1	18	5
2歳児	15	20	1	20	4
3歳児	18	19	1	19	2
4歳児	18	19	1	19	2
5歳児	18	19	1	19	1
計	90	101	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		19人	
うち	保育士	18人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	1 + 委託	その他（ ） 人
非常勤職員数		12人（常勤換算 10.2人）	
うち	保育士	6人	（常勤換算 5.13人）
	保健師・看護師	1人	（常勤換算 0.88人）
	栄養士・調理員	委託	（常勤換算 人）
	その他（ 保育補助 ）	5人	（常勤換算 4.19人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 4人	非常勤： 3人
	退職	常勤： 2人	非常勤： 1人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		31.8歳（30.6歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		3.3年（2.7年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	300円～750円
休日保育	○	—
障害児保育		—
一時保育	○	400円～3,000円
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名: トワイライトステイ事業)	○	500円～5,300円

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 26年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

19人

・ボランティアの業務

保育補助と同じように、子ども達との関わりや製作物等の準備、及び排泄・食事の介助、園内の清掃等。
※埼玉県女性キャリアセンターの職場体験も受け入れを行っている。

【実習生の受け入れ】

・平成 26年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 22人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	705.1 m ²	
	児童1人あたり	7.83 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	160.42 m ²	
	児童1人あたり	1.78 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	25年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・行事や園のことに関するアンケートの実施。
- ・ご意見ご要望BOXを設置し、保護者の方が意見を出し易い環境を作っています。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・『食育』に力を入れており、毎月行っているクッキング保育では、5歳児の子ども達を中心にパン作りや手打ちうどん作りなどを実施している。特に、カツオの解体は、実際に子ども達の目の前で魚を捌くことで、命の大切さなども学んでいる。他にも餃子の皮から作る手作り餃子や鯛の手開き、お月見団子作りなどを実施している。夏には夏野菜（ナス・ピーマン・トマト等）を苗から育て、収穫した野菜を目の前で調理して食べたり、12月のクリスマス会では、ローストチキンの作り方を見学し、焼き上がってデコレーションされたチキン1羽の捌き方を見学した後試食する等、実際に食材に触れ、調理に携わる事で、食べる事への意欲に繋がっている。また、毎月19日を『食育の日』として、野菜に触れたり、お箸の持ち方や食事の時のマナーについて考えるなどの時間も設けるなど、『食』を通して、様々なことを経験したり、感じたり出来るような保育を行っている。
- ・幼児クラスでは週に1回、外部から講師を招き、体操と英会話、2、3カ月に1回、科学教室を実施している。また、ワークブックやピアニカなども取り入れて、子ども達が幅広く様々な経験が出来る環境となっている。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

_____ 0 _____ 回 （平成 _____ 年度）